

高知県立大学総合情報センター図書館所蔵資料について

—草創期の収蔵図書（辞典・事典類）に焦点を当てて—*

五百蔵 高浩

キーワード：高知県立大学総合情報センター図書館、高知女子医学専門学校、高知県立女子専門学校、旧分類、辞典、事典

1 はじめに

本学は、その前身を高知女子大学とし、2011年4月1日に共学化が施行され高知県立大学へと名称を変更し、現在に至っている。高知女子大学はその源流を高知女子医学専門学校（以下「高知女子医専」という。）に遡る。実際には、高知女子医専が存続した期間は極めて短かった。開校した1945年8月8日から7日後に終戦を迎えることとなった。さらには、翌年1946年12月21日には南海大地震が発生し、校地校舎をはじめとするすべての設備を失い、維持不能となった¹⁾。高知県は、高知女子医専を1946年度限りで廃止²⁾することを決定したが、翌年の1947年に、生活学科、生物学科、英文学科からなる4年制の高知県立女子専門学校（以下「高知女専」という。）へと移行することとなった³⁾。また、その年には学校教育法が制定され、高知女専はその2年後の1949年に新制の大学として認可された高知女子大学として1学部1学科（家政学部生活科学科）でスタートした⁴⁾。そして2011年には男女共学化への移行とともに高知県立大学となった。本学総合情報センター図書館も、前身となる高知女子大学・高知短期大学付属図書館の図書館資料を受け継いだ⁵⁾。本学創基の頃に購入された書籍が現存している。これらは現在「旧分類」としてデータベースに入力されている⁶⁾。例えば、医事時論社から大正14年8月に第1版として発行された『日本醫籍録』（図1）は、全国（これには台湾、満州国、朝鮮、樺太も含まれている。）の医師の人名録であるが、「昭和20年9月購入」と記されている。高知女子医専門の開学と、間を置かずして迎えた終戦の直後の時期であることがわかる（図2）。押されている朱印は高知女子医専のものである（図3）。

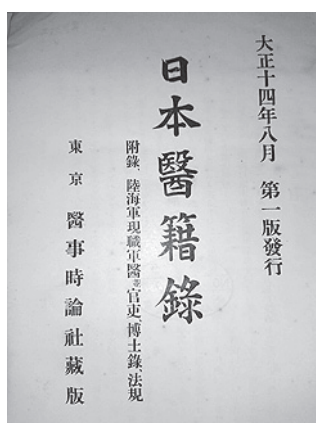


図1 『日本醫籍録』（1925）

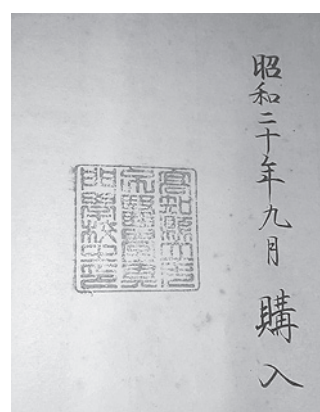


図2 『日本醫籍録』（1925）に記された購入記録と蔵書印



図3 『日本醫籍録』(1925)に記された蔵書印

筆者は、本学図書館で「旧分類」とされている資料にどのようなものが含まれているのか、今後、そのすべての構成を調査したいと考えている。今回、手はじめの作業として、辞典及び事典の類に着目し、対象となる書籍について検索してみた。この小稿では抽出した書誌情報を分類した結果を報告する。最後に、武信由太郎（主幹）『研究社 和英大辞典』（1942年、第100版）の記述を取り上げ、提示された日本語・英語の例文のいくつかを瞥見しながらその特徴を捉えてみたい。

2 データ

本節では、まず今回の作業で使ったデータソースの概要と、個々の書誌データの抽出方法を説明する。そして、抽出した書籍の書名・著者・発行者・発行年についてのデータを提示していく。

使用したデータソースは、高知女子大学の蔵書として登録されていた 8,066 冊及び高知短期大学の蔵書として登録されていた 2,149 冊からなる計 10,215 冊についての記録である。

記載されている資料のほとんどは、資源受入日が 1998 年 3 月 31 日（「資源_受入日」及び「資源_コード 2 記述」参照。）となっている。そのため、それらが高知女子医専の頃に購入されたものなのか、それとも高知女専の時期に購入された書籍なのか正確な判別できないという問題点がある。1945 年以前に出版された書籍ではあるが、購入され図書館資料となったのが高知女子大学の時期であるものも含まれている可能性がある。従って、資料ごとに蔵書スタンプ等を目視しながら確認する必要がある。

図4は当該リストの一部を抽出したものである。このリストは、1件が次に示す19件のフィールドからなる構造を持っている。

資源_分館 記述	書誌_書名	書誌_著者名	書誌_出版 者	書誌_出版 日付	資源_資料 ID	資源_所在記述	資源_請求 記号	資源_受入日	資源_購入 価格	資源_貸 出区分記 述	資源_備 消区分記 述	資源_資 料種別記 述	資源_メ モ	資源_紛 失日	物理要素 _ISBN	資源_コード2 記述	資源_受 入区分記 述
-------------	-------	--------	------------	-------------	-------------	---------	-------------	--------	-------------	-------------------	-------------------	-------------------	-----------	------------	---------------	---------------	-------------------

図4 書誌データベースの構造

フィールドは、左から「資源_分館記述」、「書誌_書名」、「書誌_著者名」、「書誌_出版者」、「書誌_出版日付」、「資源_資料ID」、「資源_所在記述」、「資源_請求記号」、「資源_受入日」、「資源_購入価格」、「資源_貸出区分記述」、「資源_備消区分記述」、「資源_資料種別記述」、「資源_メモ」、「資源_紛失日」、「物理要素_ISBN」、「資源_コード2記述」、「資源_受入区分記述」、「資源_予算区別記述」が設定されている。

3 検索結果

3.1 刊行年が 1949 年以前の辞典（シリーズ）

表 1 は「書誌_書名」フィールドに対して【辞典】をキーワードとして抽出されたデータを示している。

表 1 『大辞典』（第 1～26 巻，平凡社）

書名	著者名	出版者	出版日付
大辞典 第 1 巻		平凡社	1934
大辞典 第 2 巻		平凡社	1934
大辞典 第 3 巻		平凡社	1934
大辞典 第 4 巻		平凡社	1934
大辞典 第 5 巻		平凡社	1934
大辞典 第 6 巻		平凡社	1934
大辞典 第 7 巻		平凡社	1934
大辞典 第 8 巻		平凡社	1934
大辞典 第 9 巻		平凡社	1934
大辞典 第 10 巻		平凡社	1934
大辞典 第 11 巻		平凡社	1934
大辞典 第 12 巻		平凡社	1934
大辞典 第 13 巻		平凡社	1934
大辞典 第 14 巻		平凡社	1934
大辞典 第 15 巻		平凡社	1934
大辞典 第 16 巻		平凡社	1934
大辞典 第 17 巻		平凡社	1934
大辞典 第 18 巻		平凡社	1934
大辞典 第 19 巻		平凡社	1934
大辞典 第 20 巻		平凡社	1934
大辞典 第 21 巻		平凡社	1934
大辞典 第 22 巻		平凡社	1934
大辞典 第 23 巻		平凡社	1934
大辞典 第 24 巻		平凡社	1934
大辞典 第 25 巻		平凡社	1934
大辞典 第 26 巻		平凡社	1934

これらには 1945 年の購入であることを示す記録を見ることができる。高知女子医専時代に学校の蔵書となった大型辞典類のひとつといえる。

3.2 刊行年が 1949 年以前の百科事典（シリーズ）

次に、『大辞典』シリーズの刊行とほぼ同じ時期に出版された大型本のシリーズがある。平凡社から 1931 年から 1935 年にわたって出版された下中弥三郎編『大百科事典』（全 28 巻）である。このシリーズもまた『大辞典』シリーズと同様に、高知女子医専時代の購入である記録を視認することができる。

表2 『大百科事典』（第1～28巻，平凡社）

書名	著者名	出版者	出版日付
大百科事典 第1巻	下中彌三郎編	平凡社	193111
大百科事典 第2巻	下中彌三郎編	平凡社	1931
大百科事典 第3巻	下中彌三郎編	平凡社	193202
大百科事典 第4巻	下中彌三郎編	平凡社	193203
大百科事典 第5巻	下中彌三郎編	平凡社	193204
大百科事典 第6巻	下中彌三郎編	平凡社	193205
大百科事典 第7巻	下中彌三郎編	平凡社	193206
大百科事典 第8巻	下中彌三郎編	平凡社	193207
大百科事典 第9巻	下中彌三郎編	平凡社	193208
大百科事典 第10巻	下中彌三郎編	平凡社	193209
大百科事典 第11巻	下中彌三郎編	平凡社	193210
大百科事典 第12巻	下中彌三郎編	平凡社	193211
大百科事典 第13巻	下中彌三郎編	平凡社	193212
大百科事典 第14巻	下中彌三郎編	平凡社	193301
大百科事典 第15巻	下中彌三郎編	平凡社	193302
大百科事典 第16巻	下中彌三郎編	平凡社	193303
大百科事典 第17巻	下中彌三郎編	平凡社	1931
大百科事典 第18巻	下中彌三郎編	平凡社	193305
大百科事典 第19巻	下中彌三郎編	平凡社	193306
大百科事典 第20巻	下中彌三郎編	平凡社	193307
大百科事典 第21巻	下中彌三郎編	平凡社	193308
大百科事典 第22巻	下中彌三郎編	平凡社	193309
大百科事典 第23巻	下中彌三郎編	平凡社	193310
大百科事典 第24巻	下中彌三郎編	平凡社	193311
大百科事典 第25巻	下中彌三郎編	平凡社	193312
大百科事典 第26巻	下中彌三郎編	平凡社	193401
大百科事典 第27巻	下中彌三郎編	平凡社	193409
大百科事典 第28巻	下中彌三郎編	平凡社	193510

平凡社はこの辞典セットを現在でも『大辞典 縮刷』として刊行しており、当時最大の辞典であると説明している。<<https://www.heibonsha.co.jp/book/b157323.html>>[アクセス日 2023 年 1 月 23 日]

3.3 刊行年が1949年以前の辞典類

表3は、刊行年が1949年以前の辞典類についての抽出データである。

表3 刊行年が1949年以前の辞典類

書名	著者名	出版者	出版日付
大日本國語辞典 索引	上田萬年/松井簡治共著	富山房	1928
雙解獨和大辞典 改訂増補：総革製	片山正雄著	南江堂	193403
ゴンダ獨和新辞典：16版	權田保之助編著	有朋堂	194108
雙解獨和小辞典：改訂14版	片山正雄編	南江堂	193802
和獨大辞典：22版	木村謹治著	博文館	194203
英和活用大辞典	勝俣銓吉郎編	研究社	193905
新和英大辞典：100版	武信由太郎主幹	研究社	193103
熟語本位英和中辞典：増補新版	斎藤秀三郎著／豊田實増補	岩波書店	1936. 3
研究社英和商工辞典	藤田仁太郎編	研究社	1941
スタンダード和英大辞典	竹原常太著	寶文館	192412
和英大辞典：縮刷版	斎藤秀三郎著	日英社	193009
模範佛和大辞典 増補版	柳川勝二 [ほか] 共編	白水社	193203
佛和小辞典	E. Raguet 編譯	天主教教會	190507

英和英漢物辭典 改訂版	木下亀城[ほか]共編	綜合科學出版協會	193609
哲学辭典 (大思想エンサイクロ ペディア : 26)	神田豊穂著作	春秋社	192810
經濟辭典 (大思想エンサイクロ ペディア : 31)	神田豊穂著作	春秋社	192812
經濟學辭典 第1巻	大阪商科大学經濟研究所編	岩波書店	1930. 11-1936. 10
經濟學辭典 第2巻	大阪商科大学經濟研究所編	岩波書店	1930. 11-1936. 10
經濟學辭典 第3巻	大阪商科大学經濟研究所編	岩波書店	1930. 11-1936. 10
經濟學辭典 第4巻	大阪商科大学經濟研究所編	岩波書店	1930. 11-1936. 10
經濟學辭典 第5巻	大阪商科大学經濟研究所編	岩波書店	1930. 11-1936. 10
經濟學辭典 總索引	大阪商科大学經濟研究所編	岩波書店	1930. 11-1936. 10
經濟學辭典 追補	大阪商科大学經濟研究所編	岩波書店	1930. 11-1936. 10
法律學辭典 第1巻	末弘嚴太郎/田中耕太郎責任編輯	岩波書店	193412
音樂百科辭典 (アルス音楽大講座 : 2巻 知識篇2)	北原鐵雄編輯	アルス	193603
圖説植物辭典	村越三千男著	中文館書店	193706

これらの中には、片山正雄著の『雙解獨和大辭典』[改訂増補：総革製](1934年)と『雙解獨和小辭典』[改訂14版](1938年)(いずれも出版者は南江堂)や權田保之助編著『ゴンドラ獨和新辭典』[16版](1941年)(出版者は有朋堂)が含まれている。また、Adachi, Buntaro & Hasebe Kotondo: *Das Arteriensystem der Japaner* [2巻](1928年)(出版者はVerlag der Kaiserlich-Japanischen Universität zu Kyoto, In Kommission bei Maruzen)といった日本人がドイツ語で著した医学系の教科書も旧分類書籍の中に見つけることができる。いずれも昭和時代の初期に出版されたものであり、ドイツ語を習得することが当時の医学者にとって重要度の高いものであったことを示唆している。

3.4 刊行年が1949年以前の辞典類(洋書)

表4は、刊行年が1949年以前である辞典類(洋書)についての抽出データをまとめたものである。

表4 刊行年が1949年以前の辞典類(洋書)

書名	著者名	出版者	出版日付
<i>A concordance to the Old and New Testament, or, A dictionary and alphabetical index to the Bible.</i> Alexander Cruden/edited by C. S. Carey. George Routledge. [出版年月不明] ⁷⁾			
<i>A dictionary of modern English usage.</i> H. W. Fowler. Clarendon Press. 1926.			
<i>A dictionary of the Bible: including biography, natural history, geography, topography, archaeology, and literature</i> 4th ed., rev. and enl. Philip Schaff. American Sunday-School Union. 1880.			
<i>A new German and English dictionary: compiled from the best authorities in both languages.</i> revised and considerably enlarged by Karl Breul. Cassell. 1924.			
<i>A pronouncing dictionary of Shakespearean proper names</i> (College outline series). Theodora Irvine. Barnes & Noble. 1947.			
<i>Cassell's French-English, English-French dictionary: with an appendix of proper names weights and measures</i> , edited by Ernest A. Baker. Maruzen. [19--].			
<i>Cassell's German and English dictionary pt. 1</i> by Karl Breul / revised and enlarged by J. Heron Lepper/Rudolf Kottenhahn. Maruzen. 1936.			
<i>Chambers's biographical dictionary: the great of all nations and all times</i> Latest revision edited by Wm. Geddie/J. Liddell Geddie. W. & R. Chambers. 1949.			
<i>Dictionary of education</i> (McGraw-Hill series in education). Carter V. Good. McGraw-Hill. 1945.			
<i>Dictionary of quotations: from ancient and modern, English and foreign sources including phrases, mottoes, maxims, proverbs, definitions, aphorisms, and sayings of wise men, in their bearing on life, literature, speculation, science, art, religion, and morals especially in the modern aspects of them.</i> James Wood. Frederick Warne. 1893.			
<i>Dictionnaire de la langue française: Nouvelle éd.</i> É. Littré / A. Beaujean. Éditions Universitaires. [19--].			
<i>Dictionnaire des débutants.</i> par Michel de Toro. Larousse. 1949.			
<i>Dictionnaire des difficultés grammaticales et lexicologiques</i> (Collection Bien écrire et bien parler) par Joseph Hanse.			

- Scientifiques et Littéraires. 1949.
- Dictionnaire des difficultés grammaticales et lexicologiques* (Collection Bien écrire et bien parler) par Joseph Hanse. Scientifiques et Littéraires. 1949.
- Dictionnaire des synonymes de la langue française.* par René Bailly / sous la direction de Michel de Toro. Larousse. 1947.
- Dictionnaire étymologique de la langue française* [10e éd.]. par Albert Dauzat. Larousse. 1938.
- Dictionnaire français-espagnol: donnant pour les deux langues simultanément, la prononciation figurée, le genre des noms, la place de l'accent tonique, la conjugaison des verbes, les règles de la grammaire, un guide de conversation.* par Miguel de Toro y Gisbert. Larousse. 1926.
- Duden français: dictionnaire illustré de la langue française, correspondant au "Bildwörterbuch" de Duden.* par A. Snyckers Bibliographisches Institut. 1937.
- Duden français: dictionnaire illustré de la langue française, correspondant au "Bildwörterbuch" de Duden.* par A. Snyckers. Bibliographisches Institut. 1937.
- Duden français: dictionnaire illustré de la langue française, correspondant au "Bildwörterbuch" de Duden.* par A. Snyckers. Bibliographisches Institut. 1937.
- Everyman's English dictionary* (Everyman's library/reference: no. 776). by D. C. Browning. J. M. Dent & Sons. 1942.
- Funk and Wagnalls college "standard" dictionary of the English language: 2,500 pictorial illustrations: abridged from the Funk & Wagnalls new standard dictionary of the English language.* Wilcox & Follett. 1943.
- Great expectations* (The works of Charles Dickens: complete edition in twenty volumes) Charles Dickens/with ten illustrations by Charles Green Chapman & Hall: Humphrey Milford. [1---].
- Idiomatic and syntactic English dictionary.* A. S. Hornby/E.V. Gatenby/A.H. Wakefield Institute for Research in Language Teaching. 1942.
- Idiomatic and syntactic English dictionary.* A. S. Hornby/E. V. Gatenby/A. H. Wakefield Institute for Research in Language Teaching. 1949.
- Muret-Sanders: Enzyklopädisches englisch-deutsches und deutsch-englisches Wörterbuch. Hand- und Schulausgabe.* T. 1 (Methode Toussaint-Langenscheidt). B. Klatt/Edmund Klatt. Langenscheidtsche Verlagsbuchhandlung. 1910.
- Muret-Sanders: Enzyklopädisches englisch-deutsches und deutsch-englisches Wörterbuch. Hand- und Schulausgabe.* T. 2 (Methode Toussaint-Langenscheidt). H. Baumann. Langenscheidtsche Verlagsbuchhandlung. 1910.
- Nouveau petit Larousse illustré: dictionnaire encyclopédique.* Claude Augé/Paul Augé. Larousse. 1940.
- Petit dictionnaire français-anglais: contenant tous les mots usuels avec leur prononciation figurée* (Petits dictionnaires Garnier) par J. Mc. Laughlin. Garnier Frères. [19--?].
- The Century cyclopedia of names: a pronouncing and etymological dictionary of names in geography, biography, mythology, history, ethnology, art, archaeology, fiction, etc., etc., etc.* (The Century dictionary cyclopedia and atlas:v. 8). edited by Benjamin E. Smith. The Times. 1903.
- The Century dictionary: an encyclopedic lexicon of the English language v. 1.* William Dwight Whitney. Times. 1903.
- The Century dictionary: an encyclopedic lexicon of the English language v. 2.* William Dwight Whitney. Times. 1903.
- The Century dictionary: an encyclopedic lexicon of the English language v. 3.* William Dwight Whitney. Times. 1903.
- The Century dictionary: an encyclopedic lexicon of the English language v. 4.* William Dwight Whitney. Times. 1903.
- The Century dictionary: an encyclopedic lexicon of the English language v. 5.* William Dwight Whitney. Times. 1903.
- The Century dictionary: an encyclopedic lexicon of the English language v. 6.* William Dwight Whitney. Times. 1903.
- The Century dictionary: an encyclopedic lexicon of the English language v. 7.* William Dwight Whitney. Times. 1903.
- The Century dictionary: an encyclopedic lexicon of the English language v. 8.* William Dwight Whitney. Times. 1903.
- The concise Oxford dictionary of current English 3rd ed.* H.W. Fowler/F.G. Fowler/H.G. Le Mesurier Clarendon Press. 1937.
- The Dickens encyclopædia: an alphabetical dictionary of references to every character and place mentioned in the works of fiction, with explanatory notes on obscure allusions and phrases.* Cheaper ed Arthur L. Hayward G. Routledge and Sons. 1931.
- The dictionary of national biography: founded in 1882. the concise dictionary from the beginnings to 1930, being an epitome of the main work and its Supplement, to which is added an epitome of the twentieth century volumes covering 1901-1930* by George Smith. Oxford University Press. 1939.
- The English Duden: picture vocabularies in English with English and German indices, adapted from Duden's "Bildwörterbuch".* H. Klien/M. Ridpath-Klien. Bibliographisches Institut. 1937.
- The English Duden: picture vocabularies in English with English and German indices, adapted from Duden's "Bildwörterbuch".* H. Klien/M. Ridpath-Klien. Bibliographisches Institut. 1937.
- The English Duden: picture vocabularies in English with English and German indices, adapted from Duden's "Bildwörterbuch".* H. Klien/M. Ridpath-Klien. Bibliographisches Institut. 1937.
- The Oxford English dictionary: being a corrected re-issue with an introduction, supplement, and bibliography of a New English dictionary on historical principles v. 1. A-B.* James A. H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.
- The Oxford English dictionary: being a corrected re-issue with an introduction, supplement, and bibliography of a New English dictionary on historical principles v. 2. C.* James A. H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.
- The Oxford English dictionary on historical principles v. 3. D-E.* James A. H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.
- The Oxford English dictionary: being a corrected re-issue with an introduction, supplement, and bibliography of a New English dictionary on historical principles v. 4. F-G.* founded mainly on the materials collected by the Philological Society and edited by James A.H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.
- The Oxford English dictionary: being a corrected re-issue with an introduction, supplement, and bibliography of a New English dictionary on historical principles v. 5. H-K.* James A. H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.
- The Oxford English dictionary: being a corrected re-issue with an introduction, supplement, and bibliography of a New English dictionary on historical principles v. 6. L-M.* James A. H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.

The Oxford English dictionary: being a corrected re-issue with an introduction, supplement, and bibliography of a New English dictionary on historical principles v. 7. N-Poy. James A. H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.

The Oxford English dictionary: being a corrected re-issue with an introduction, supplement, and bibliography of a New English dictionary on historical principles v. 8. Poy-Ry. James A. H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.

The Oxford English dictionary: being a corrected re-issue with an introduction, supplement, and bibliography of a New English dictionary on historical principles v. 9. S-Soldo. James A. H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.

The Oxford English dictionary: being a corrected re-issue with an introduction, supplement, and bibliography of a New English dictionary on historical principles v. 10. Sole-Sz. James A. H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.

The Oxford English dictionary: being a corrected re-issue with an introduction, supplement, and bibliography of a New English dictionary on historical principles v. 11. T-U. James A. H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.

The Oxford English dictionary: being a corrected re-issue with an introduction, supplement, and bibliography of a New English dictionary on historical principles v. 12. V-Z. James A. H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.

The Oxford English dictionary: being a corrected re-issue with an introduction, supplement, and bibliography of a New English dictionary on historical principles. Supplement and bibliography. James A. H. Murray ... [et al.]. Clarendon Press. 1933.

Webster's biographical dictionary: a dictionary of names of noteworthy persons with pronunciations and concise biographies. 1st ed. G. & C. Merriam Company. G. & C. Merriam. 1943.

Webster's Columbia concise dictionary of the English language. Meine, Franklin J./Fritz Leiber Jr. ... [et al.]. Columbia Educational Books. 1940.

Wörterbuch der deutschen Sprache in ihrer heutigen Ausbildung 10. Aufl. P. F. L. Hoffmann/Martin Block/Gustav Mohr... [et al.]. F. Brandstetter. 1936.

これらの書籍については更に購入時期を特定する必要があると思われるが、洋書の入手ということが極めてハードルの高いことであった終戦直前の頃に出版された、定評のあるシリーズ物の外国語辞書が蔵書となっていることは非常に興味深い。

4 史料としての辞典：武信由太郎（主幹）『研究社 和英大辞典』（1942 年、第 100 版）

本節では、第 3 節の表 3 の中の 1 冊に焦点を当てて見ていきたい。武信由太郎（主幹）が著した『研究社 和英大辞典』（以下『大和英』という。）（第 100 版）である。奥付には「定価金七圓」とある。また、「高女醫専圖書」のスタンプを見ることが出来る一冊でもある。

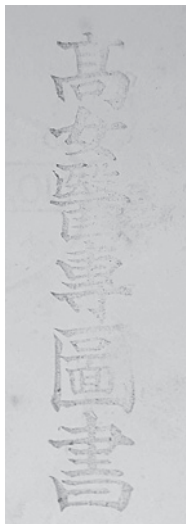


図 5 『大和英』（第 100 版）に押されている
高女醫専圖書のスタンプ

この『大和英』（第 100 版）の奥付を見ると、1921（昭和 6）年の初版発行であることがわかる。そして、初版からわずか 5 日で第 5 版が発行されていることに驚かされる。また、その後夥

しい回数版の版が短い期間に重ねられていることにも目を奪われる。昭和 16 年 1 月 10 日に第 91 版発行、同年 10 月 1 日に第 98 版発行となり、さらにわずか 10 ヶ月の間に 7 度の版を重ねている。その後第 100 版まで達していることに驚かされる⁸⁾。

次に挙げるのは『大和英』（第 100 版）の「解説」で示されている句読法の説明である。辞書という性格上、説明のために簡潔な用例を示す必要があることは今も昔も同じことであると考えられるが、「豫告なく」、「國を賣る」、「彈程内（外）に」、「悲觀的(に)」、「非軍國主義(主義者)」、「最後の努力(をする)」、「英魂を慰める(弔ふ)」、「避難所」、「金は一文もない」、「awe a duty ((to one's country))」など、当時の社会の状況を色濃く写すことばが見えてくる。

括弧用法 1. 丸括弧 () (a) 其前語句を言ひ換へる時

例—[豫告なく] without notice (warning);

¶ 不自由なく暮らす live in ease (comfort, plenty); be well (comfortably) off.

¶ 國を賣る sell (betray) one's country.

(b) 二句を一括する時

例— ¶ 彈程内（外）に within (out of) gunshot.

¶ 悲觀的(に) pessimistic(ally); dark(ly).

¶ 非軍國主義(主義者) anti-militarism (an anti-militarist).

¶ 最後の努力(をする) (make) a spurt.

¶ 英魂を慰める(弔ふ) appease (pray for) the spirit of the departed.

2. 角括弧[] その内の語句は省略し得ることを示す。

例— dōryoku(動力) n. ((機)) [Motive] power; ((力學)) [dynamic]

¶ 避難所 a haven [of rest]. ¶ 具申書 a [full, detailed] report;...

¶ 金は一文もない. I have not a penny [to bless myself with].

3. 二重括弧(()) 文法上及び語法上の關係を明らかにする爲補ふ語を示す。

例—

awe a duty ((to one's country)). set ((one thing)) against ((another)).

leave ((things)) lying about. draw a parallel (comparison) ((between))

expel ((a person)) from ((a club)).

(『大和英』(第 100 版), 「解説」 pp. iii-iv)

次は見出し語「akiraka (明か)」の下に記載部分を引用したものである。

akiraka (明か) 1. [明るさ] ~**na** a. Bright; shining; radiant. [⇨*akarui*, 1.] ¶ 月明かなる夜 a bright moonlit night. 2. [判然] a. Clear; distinct; plain; vivid; evident; apparent; obvious; patent; manifest; explicit; express; definite; direct ~ **ni** ad. Clearly; distinctly; vividly; plainly; evidently; obviously; explicitly; expressly; definitely; directly; [斷然] undoubtedly; decidedly; admittedly. ¶ 明かな事實 a plain truth; an obvious fact; a patent fact. ¶ 明かな證據 an evident proof. ¶ 明らかな理由 (答) a definite reason (answer). ¶ 明かな承諾 an express consent. ¶ 明らかな區別 a sharp distinction. ¶ 明らかになる become clear (plain); be ascertained; be proved; [分る] be known; be made known. ¶ 明かにする make ((a matter)) clear (plain); clear

[up]; clarify; bring to light; throw (shed) light on; demonstrate (証明する). ¶ 原因を明かにする *clear up the cause*. ¶ 理由を明かにする [自分で] *find out a reason*; [人に] *give a reason for; account for; explain*. ¶ (事実等が)疑点を明かにする *throw light on the doubtful points*. ¶ 出所を明かにする *authenticate (indicate) the source*. ¶ 態度(立場)を明かにする *define (clarify, indicate) one's attitude (position)*. ¶ 金銭の収支を明かにする *account for every sen*. ¶ 火を見るよりも明かである *be as clear as day; be as plain as the sun (a pikestaff)*.

¶ 彼が間違へたのは明かだ. *Evidently he has made a mistake*. ¶ それは明かに君の間違いだ. *You are decidedly in the wrong*. ¶ それは明かに選挙違反だ. *It is a flagrant violation of the Election Laws*. ¶ 彼の罪状が明かになった. *His guilt has been established*. ¶ この事実によって被告の無罪は明らかである. *The fact testifies to the innocence of the accused*. ¶ かういふ計画が失敗に終わるのは今から明らかである. *The failure of such an attempt is a foregone conclusion*. ¶ その金をどう使ったか明らかでない. *How the money was spent is not accounted for*. ¶ 彼の死因が明かでない. *He died from some unknown cause*. ¶ 何處の何者だか明かでない. *He is not identified*. ¶ 彼の居所が明かでない. *His whereabouts are unknown*. ¶ 出火の原因が今だに明かでない. *The cause of the fire remains a mystery*. (p.20)

記載の構成は2つの部分に分かれている。前半部分では、最初に物理的な明るさに対する英語の類義語が提示されている。その後に事実関係の明白さを表す英語の類義語が提示されている。その後には、「明らか」というフレーズを含む日本語の慣用表現に対する英語の表現が語句レベルで提示されている。後半部分は文レベルの表現を示すものとなっており、日本語の文の各々に対して英文が与えられているが、対象は「間違い」や「罪状」などネガティブなものが集められているのが特徴である。また、主語となる人称代名詞として「彼」・He が圧倒的に多く用いられている。これは現在出版されている辞書の用例選択と比較することで興味深い考察ができるのではないと思われる。

5 おわりに

本稿では本学総合情報センター所蔵図書館資料のうち、本学草創期に購入されたと考えられる書籍を抽出する試みの一部を報告した。特に辞典・事典類に着目し、残っているタイトルをいくつかの表にまとめてみた。今回は試行的な試みとして辞典・事典類に光を当ててみたが、今後は、図書館での蔵書登録で現在共通して用いられている分類法である日本十進分類法(Nippon Decimal Classification [NDC])の観点からデータと配架されている書籍を調べていきたい。

注

- * 本稿をまとめるにあたり、書誌データの抽出と開架資料の確認作業では本学事務局図書情報部の職員の皆様に多大なご協力を賜りました。記して感謝申し上げます。また、高知県立大学総合情報センター永国寺図書館及び池図書館において、「高知県立女子医学専門学校、高知県立女子専門学校時代の図書」と題する特別展示が催されたことを付記しておきます（展示期間：2022年11月4日～2023年2月28日（永国寺図書館）、2022年12月1日～2023年2月28日（池図書館））。

- 1) 石渡 (2020, p.180)参照。
- 2) 高知県立大学(2017, p.21)参照。
- 3) 高知女子大学は、1998（平成10）年4月1日に家政学部及び文学部が各々生活科学部及び

文化学部へと改組するとともに、看護学部、社会福祉学部、大学院看護学研究科が新設した。さらに、高知女子大学・高知短期大学付属図書館と高知女子大学情報処理センターを統合し、2002（平成14）年4月1日、高知女子大学・高知短期大学総合情報センターを発足させた（高知県立大学2017, p.188参照）。

- 4) 同じ年度に認可された公立の女子大学は大阪女子大学と熊本女子大学であった（高知県立大学2017, p.21）。石渡(2020, p.164)は、1948年～49年に家政学系学部・学科が設置された四年生大学の4類型（A=複数の旧制教育機関を母体に改組および合併され発足した共学の総合大学、B=旧師範系教育機関を母体に改組または合併され発足した大学、C=旧公立女子専門学校を母体に改組され発足した、公立女子大学、D=旧私立女子専門学校の家政科を中心に改組され発足した私立女子大学）を示し、上記の3大学をCタイプに分類している。

表A 1948～49年に家政学系学部・学科が設置された四年制大学(石渡2020, p.164参照)

	大学名	学部／学科名	設置年月日	旧制母体機関名
A	大阪市立大学	家政学部	1949年4月1日	大阪市立女子専門学校
	東北大学	農学部家政学科	1949年5月31日	宮城県女子専門学校
B	広島大学	教育学部家政科	1949年5月31日	広島女子高等師範学校・広島師範学校男子部・女子部
	お茶の水女子大学	理家政学部		東京女子高等師範学校
	奈良女子大学	理家政学部		奈良女子高等師範学校
C	高知女子大学	家政学部生活科学科	1949年2月21日	高知県立女子専門学校
	大阪女子大学	学芸学部生活理学科		大阪府女子専門学校
	熊本女子大学	文家政学部家政学科	1949年3月25日	熊本県女子専門学校
	西京大学	文家政学部	1949年4月1日	京都府立女子専門学校
D	日本女子大学	家政学部	1948年3月25日	日本女子専門学校
	神戸女学院大学	文学部家政学部	1948年4月1日	神戸女学院専門学校
	東京家政大学	家政学部		東京女子専門学校
	実践女子大学	文家政学部		実践女子専門学校
	同志社女子大学	学芸学部家政学部		同志社女子専門学校
	京都女子大学	家政学部		京都女子専門学校
	大阪樟蔭女子大学	学芸学部		樟蔭女子専門学校
	大妻女子大学	家政学部	1949年3月25日	大妻女子専門学校
	共立女子大学	家政学部		共立女子専門学校
	昭和女子大学	文家政学部		日本女子専門学校
	椋山女学園大学	家政学部		椋山女子専門学校
	武庫川女子学院大学			武庫川女子専門学校
	ノートルダム清心女子大学	家政学部		岡山清心女子専門学校
	和洋女子大学	家政学部		和洋女子専門学校

- 5) 高知県立大学総合情報センター「沿革」<<https://iicuk.cc.u-kochi.ac.jp/history-related.html#enkaku>>参照。[アクセス日 2023年1月21日]

- 6) 蔵書構築についての基本的な考え方は「高知県立大学総合情報センター図書館 理念と目標及び蔵書構築方針」(2020年4月1日施行)を参照。
- 7) 国立国会図書館サーチで C. S. Carey による編集が施された版で出版年が明確なものを検索すると 1914 年出版のものと 1926 年出版のものが登録されていることがわかる。
- 8) 『大和英』は 1949 年に増補版として第 101 版を迎えることとなる。「増補版序」には以下が記されている。

この間における我國文化の發展は、あらゆる部門に新しい日本語を更に多く加えました。舊來の語句にも新しい意味が附加されました。大英和辭典にも見出されない語句が年と共に増加して來たことは否定出來ません。しかもこの間に起こつた新しい社會情勢は、弊社の再改訂に對する願望を封じてしまいました。愛用をいたゞく方々への責任を果たし得ない苦衷をなげくうちに、我國は太平洋戰爭に突入し、遂に慘めな敗戦に追い込まれてしまいました。かくて、昭和二十年八月十五日を境として、我國は急激な變貌を餘儀なくされるに至りました。

敗戦という事實と、連合國軍の進駐とは、我國の英學界にもまた畫期的な大變化をもたらしました。米語の壓倒的な進出と、新情勢によつて生まれた新しい日本語が無数と言つていいほど生まれました。古い語句にも新しい内容が盛もられました。その數また決して少なくはありません。これがために、急にその必要度を増した英文起草、和文英譯に従方々はすくなかざる困難を感じるようになり、古い和英辭典がその價値を減自体ことは當然であります。弊社はこの間隙を満す一助にもと、さきに「時事英語辭典」を刊行して、聊聊か一般の要請に應え得たことを信じております。しかも新語句はその後も續々その數を加えております。

戦前の英語教育ではイギリス英語を規範モデルとすることが主流であったことはしばしば指摘されることである。連合國軍の進駐に伴いアメリカ英語(米語)の流入が著しく増加し、以降は学校教育にもアメリカ英語が浸透していくことになる。これに伴い日本語そのものに数多くの新語が生まれたことは、明治維新の時期に西洋文明を参照枠として数多くの日本語が創出されたことと符合する現象であるように思われる。松崎(2014)は日本の英語教育における規範モデルの変遷について次のように述べている。

我が国の英語教育黎明期においては、当時七つの海を支配するほどの国力を誇った大英帝国の英語が規範となるのではなく、教科書の発行および輸入元であったアメリカの英語がむしろ教育現場に浸透していくという興味深い現象が起きることとなった。

しかしながら、舶来本・復刻本が次第に教育現場から姿を消し始めた明治中期から後期にかけて、日本の對外情勢にいくつかの大きな転機が訪れる。まず 1905(明治 38)年の日露戦争勝利によって国力が高まりを見せ、国家の威信も高揚していく。さらに、1902(明治 35)年にすでに締結していた日英同盟により欧米列強の一員としての意識が年を追うごとに強まっていく。そのような情勢の中で、同盟国たるイギリスの国語、すなわち英語を学ぶことの重要性が再認識されることになり、とりわけ大正期から昭和期にかけての教育界では同盟国意識を背景にしながらイギリス英語をその規範とする傾向が一貫して続いていくことになる。(松崎 2014, p.112)

また、飛田(1973)の次の言説にも着目しておきたい。

現在、われわれが日常使用している日本語のかなりの部分が、明治の文明開化とともに輸入された西洋文明の翻訳語、あるいは、そのまま輸入した外来語だからである。(飛田 1973, p.83)

参考文献

- 石渡尊子 (2020) 『戦後大学改革と家政学』, 東京大学出版会.
- 医事時論社 (編) (1925) 『日本醫籍録』, 医事時論社.
- 片山正雄 (1934) 『雙解獨和大辭典』 [改訂増補], 南江堂.
- 片山正雄 (1938) 『雙解獨和小辭典』 [改訂 14 版], 南江堂.
- 高知県立大学創基 70 周年記念事業委員会 (2017) 『高知県立大学創基 70 周年記念誌』, 高知県立大学.
- 高知県立大学 (2020) 「高知県立大学総合情報センター図書館 理念と目標及び蔵書構築方針」 高知県立大学 <https://iicuk.cc.u-kochi.ac.jp/library/pdf/zousyokouchiku_uok.pdf>.
- 権田保之助 (編) (1941) 『ゴンドラ獨和新辭典』 [16 版], 有朋堂.
- 武信由太郎 (主幹) (1932) 『新和英大辭典』 [第 100 版], 研究社.
- 武信由太郎 (主幹) (1949) 『新和英大辭典 増補版』 [第 101 版], 研究社.
- 飛田良文 (1973) 「明治時代の言語 I 明治時代語研究の意義」, 国立国語研究所(1973) 『国立国語研究所の歩み・6』 (pp.81-83).
- 松崎徹 (2014) 「英語発音表記変遷史--戦後検定教科書の発音表記の観点から--」, 『筑紫女学園大学・短期大学人間文化研究所年報』 第 25 号, 109-125.< <http://id.nii.ac.jp/1219/00000451/>>.
- Adachi, B., & Hasebe, K. (1928) *Das Arteriensystem der Japaner*, Bund 1. Verlag der Kaiserlich-Japanischen Universität zu Kyoto, In Kommission bei Maruzen.
- Adachi, B., & Hasebe, K. (1928) *Das Arteriensystem der Japaner*, Bund 2. Verlag der Kaiserlich-Japanischen Universität zu Kyoto, In Kommission bei Maruzen.

(いおろい たかひろ・本学教授)